身

連

られますが、26年度も引き続き、財政検討援と財政努力などにより、若干の改善が見 委員会などを中心に一層の改善に努めてま

算がまとまりました。日身連の財 長は、「平成25年度の事業報告と決

理事会冒頭に嵐谷安雄日身連会

、状況については、皆さんのご支



発行所 社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会 (中央障害者社会参加推進センター) 発行人 風谷 安雄 東京都豊島区自自3丁目4の3 デァダンクビル4間 TEL03-3565-3399(代) FAX03-3565-3349 http://www.nissinren.or.jp

Japanese Federation of Organizations of the Disabled Persons (JFOD) 年間購読料 正会員1部 300円 非会員1部 1000円

県において開催される定例評議員会におい

て引き続き審議されます。

つづいて報告事項として、

25年度に各ブ

第3号

平成25年度会計収支決算について

平成25年度事業報告案について

第2号

されました。なお同議案は、

支決算が審議され、

いずれも異議なく承認

5月22日島根

第 1 号

日身連評議員(新任ならびに交

《正副会長会·理事会議案》

替)の同意について

平成25年度事業報告

典における役員の役割等を確認して閉会と 福祉大会しまね大会の参加状況や、 提出することが報告され、

最後に、5月22

23日に開催される第59回日本身体障害者

大会式

(同連絡事項)

第2号

その他

第5回日本身体障害者福祉大会しまね大会

式典について

慮とは何かについて十分な理

ついて、内容を精査したものを関係省庁に ロックを通じて提出いただいた要望事項に

第 1 号

平成26年度日身連要望事項の提出

《同報告事項》

について

いりたい」

ح

べました。 あいさつを述

まず、

あいさつする嵐谷安雄日身連会長



第1回定例理事会の模様 示にともなう新にともなう新 郎がて、渡辺四山市身の同意につ 協会4月1日 付日身連加入 協会会長(同 体障害者福祉

事業主にとって何が禁止すべき差

井公博岩、 福祉協会会長 県身体障害者 連合常務理事 体障害者団体 事務局 藤浜

第647号 (昭和36年4月10日 第三種郵便物認可)

議されました。

例理事会が開催され、25年度の

回正副会長会ならびに第1回定 区)において、平成26年度第1 員会館会議室

(東京都千代田

平成26年5月8日、参議院議

事業報告案と会計収支決算が審

26年5月8日から平成27年4月30日まで)議員として承認されました。(任期は平安 次に、25年度事業報告案ならびに会計収 員として承認されました。(任期は平成

> 民間事業所に義務付けられるため した阿部一彦副会長は、「差別の禁が行われました。委員として参加 別禁止と合理的配慮の提供に関す て「第10回改正障害者雇用促進法4月25日、厚生労働省内におい 止と合理的配慮の提供はすべての 連の議論を踏まえ、厚生労働省から る議論が重ねられてきましたが、 会」が開催されました。これまで差 提供の指針の在り方に関する研究 示された報告書素案に対する議論 に基づく差別禁止・合理的配慮の

別に当たるのか、そして、合理的配 く指針研究会

報告書素案が示される

対応を図ることが求められます。

こともでき、 処に報告書をまとめる予定です。 ます。」と、研究会をふり返りまし り組んでいくことが必要だと思い 知を図り、障害があっても充実し 事業主側との相互理解の中で可能 に尊重し、 別的配慮 《で、個別的に申し立てる 合理的配慮は障害者に対する。個 連としても、これらのしくみの周 な限り提供されるものです。 た職業生活を営むための活動に取 同研究会では、本年7月を目 障害者の個々の事情と 障害者の意向を十分 日身

催

催しました。 4月28日、 第12回障害者政策委員会が開

まず、

国際調査の実施の報告が行われ、 害者権利条約の国内モニタリングに関する 設置・運営に関する暫定指針の策定と、 障害者差別解消支援地域協議会の 委員から 障 べられました。

害者基本計画の推進状況について分野別ご 障害者差別解消法に基づく基本方針につい とに関係する省庁の取り組み状況のほか、 東日本大震災での情報保障の問題点等が述 て障害者放送協議会ヘヒアリングが行われ、 同委員会との関連等について の意見がありました。続いて、 は国内モニタリングに関して 協議事項としては、 第2次障